

活動名称 (40字以内)	みんなで翻刻ソン		
団体名等	地震研究所・地震予知研究センター		
活動区分	<input type="checkbox"/> ボランティアなどの社会貢献活動	選考方法	<input checked="" type="checkbox"/> 先着順
	<input type="checkbox"/> 国際交流体験活動		<input type="checkbox"/> 書類審査
	<input type="checkbox"/> 就労体験活動	募集人数	<input type="checkbox"/> 面接
	<input type="checkbox"/> 農林水産業・地域体験活動		10 人
	<input type="checkbox"/> フィールドワーク体験活動		
<input checked="" type="checkbox"/> 研究室体験活動			
参加資格等	古文書解読やアプリ開発に興味のある学部学生(経験・能力・学部・学科は問いません)		
活動期間	2019/9/2(月) ~ 9/4(水) ※3日間(応相談)	主な活動場所	地震研究所1号館 (弥生キャンパス)
目的	市民参加型の歴史史料解読プロジェクトに参加し、 東京大学が所蔵する災害史料のコレクションの翻刻(文字起こし)やアプリを開発することです。		
具体的な内容 (800字程度)	<p>あなたの住んでいる地方で起こった大地震に関心はありませんか？ 地震学や歴史学の研究者と協力して、歴史災害研究に貢献してみませんか？</p> <p>史料に書かれた文章を活字に起こし、データとして利用しやすくする作業を、歴史学の用語で「翻刻」と言います。</p> <p>「みんなで翻刻」(https://honkoku.org/)は市民参加型のオンラインでの歴史史料翻刻プロジェクトです。2017年1月に、地震に関連する史料の解読プロジェクトとして開始しました。これまでに4000人以上の参加者を得て、500点弱の史料を解読してきました。総入力文字数は500万文字を超えています。2019年4月には次期バージョンをリリースし、世界中で公開が進むデジタルアーカイブとの連携を目指しています。</p> <p>ここで解読された歴史史料は、たとえば過去の地震の理解に向けた研究に活用されます。ご参加いただいた方が古文書に親しみ、その解読の楽しみを知っていただくことにもつながっています。 また、AIによって古文書を解読するための題材になる可能性も秘めています。</p> <p>「みんなで翻刻」は、プロジェクト全体の名称であると同時に、プロジェクトを支えるWebアプリの名称でもあります。縦書きに対応した翻刻エディタが実装されています。解読のための学習コンテンツも充実しています。翻刻文字数ランキングや掲示板など参加者のモチベーションやコミュニケーションを促進する仕掛けが施されています。今後、III Fという画像の相互利用のためのプロトコルに対応します。</p> <p>皆さんの参加により、「みんなで翻刻」の歴史史料解読プロジェクトおよびアプリとしての「みんなで翻刻」をさらに発展させていきたいと考えました。それが「みんなで翻刻ソン」です。</p> <p>この企画では、 (1)「みんなで翻刻」を利用して実際に古文書を解読してみる、 (2) 解読作業を通じてアプリの改善点を挙げてもらう、 (3) アプリの改善に取り組んでもらう、などを予定しています。</p>		
備考	古文書の解読やソフトウェアの開発の経験や能力は問いません。 単に感想やアイデアを出すところから、実際に手を動かして解読・開発をすすめるところまで、個人の興味や関心に応じて幅広く取り組む活動にしたいと思います。		
参加するための費用※	内訳(1名当たり)	その他※特記事項は以下に記載	
	交通費 実費 円 宿泊費 円 () 円 () 円 計 0 円	※指定の活動期間(9/2(月) - 9/4(水))について日時の都合・希望があれば申請書内「その他」欄に記入すること。 東京大学弥生キャンパスまでの交通費は自己負担。 奨励金額 なし 円	
ウェブサイト等	みんなで翻刻 https://honkoku.org/		